

## 第34号 船岡山

発行責任者 小千谷市第一地区民生・児童委員協議会  
会長 関 新 二



### ～ 今期で退任される皆さんからのメッセージ ～



#### 「一歩ずつ、これからも…」 関 新二

「笑顔で住み続けたいと思える地域作り」を目指してスタートした第一地区令和5年組。広報誌「船岡山」に詩人のような文章を寄せる人、フードバンクに興味を持った人、黄梅の花を自慢する人、何の取り柄もない人、他の地区の定例会が気になる人、盆栽が趣味な人、孫と一緒に成長したいと願っている人、食事は命をいただく事だと主張する人、ホタル狩りの蘊蓄をいう人、豆知識を披露する人などが今期で退任します。

引き続き委員活動が続ける方々も含めて19名の仲間の皆さんと一緒に事例研究やら情報を共有し委員活動を締めくくることができました。これからも「笑顔で 地域作り」を目指して下さい。

私は、4期12年間多くの方々と出会い様々な経験をさせていただきました。とても中身のある楽しさでした。

ありがとうございました。



町永さんを囲んで全員集合！

#### 6年間の務めを終えて 西脇フサ子

コロナ禍に突入するかのように始まった民生・児童委員もあとわずかです。6年間のお務めを終えようとしています。右も左もわからず“これからどうなるのだろう”と不安を抱えての出発でしたが、第一地区の委員の皆様のおかげで無事任期を終え、次の委員さんにバトンタッチできそうなことを本当に嬉しく有難いことと感謝しております。

長い間、本町に住みながらあいさつ程度しかしなかった多くの方と楽しく、ある時は親密に話ができただことは、民生・児童委員でなければできなかったことだと思いました。そして、これからの数年は団塊の世代がドーンと増え、民生・児童委員の仕事が増えることも予想されます。新聞、テレビで委員のなり手がいないと見聞きしますが、やはり折々に民生・児童委員の決まり事を見直し、無理な負担がないよう変えていかなくてはならないことを小千谷市に切にお願いしたいところです。



定例会グループワーク

新しい委員さん、そして続投して下さる委員さんに「これからもよろしくお願いします。」の言葉を添えて、健康に留意されご活躍されますことをお祈り申し上げます。

#### 振り返って今思うこと 渡邊和枝

民生・児童委員とは、どんな仕事をするのか何も知らずに不安な気持ちでお受けしました。早いものでもう6年が経とうとしています。今思うと色々な事がありました。

アパート住まいの1階の人が2階の人の騒音に迷惑しているとの事（声・音・戸の開閉・歩き方）で、二人で謝りに行った事。（2階の住民は精神障害のある方）認知症の一人住まい

の女性（88歳）と何回も市役所に足を運んだ事。冬の寒い雪の降る日「知らない人が家の車庫にいます。来てみてください。」と電話。すぐに駆け付けました。当人は、左足が痛くて歩けないと震えて座っていました。（70歳代の男性）事情を聞き町内会長と二人でアパートまで送って行きました。すぐに、市の包括に事情を説明し行ってもらいました。包括の方も二人ですぐに訪れ、話を聞いたそうですが、残念な事に二日後に亡くなりました。（低体温症？）

嬉しいこともたくさんありました。多くの高齢者の人達との交流もあり、相談に乗ってあげた事。いきいきサロンで楽しく過ごしたり、いろんな話で笑ったり。今思うと自分にとってとてもいい経験、財産になっています。これからも高齢者一人住まいの皆さんとはいい関係でいたいと思っています。

委員の皆さんにもいろいろと教えていただく事ばかりで・・・本当にお世話になりました。ありがとうございました。感謝です！



さつき工房ふれあい祭り

---

ひとすじ みち いま  
**一筋の道生きぬいて今がある 石坂信一**

もう何十年も前の話、中学 1 年の時、市内の生活保護世帯にテレビが当たった。県内では新潟の一部しか視聴出来ず、宝の持ち腐れだった。生活保護の要件として、贅沢品を処分して収入に充てることが定められており、これが国会でも取り上げられ、大問題となっていた。結局、国立療養所に預けることで決着したが、そのことで興味を持った。新設の福祉大学に入学し、4 年後横浜市職などに合格したが、結局静岡県職員となった。

私は 4 人兄妹の長男で 3 人が東京へ就職した為、新潟県職員として戻り、福祉、児相、白岩の里などに転勤し、両親を看取るため 58 才で退職。六花園に席を置く傍ら町内会長等から強く民生委員をすすめられ、これを引き受け 24 年になりました。富久寿大学にも席を置いていますので、今が退任の好機と思っています。“一筋の道生きぬいて今がある”



防犯パトロール

---

**民生・児童委員になって 佐藤陽子**

十年一昔と言いますが、民生・児童委員になって 3 期 9 年が過ぎようとしています。社会情勢も随分変化して来ました。関わる方も増え自分自身も高齢者の仲間入り。

私事ですが、「カード払いなんて怖くてできない。」と思っていたのが、「お金の出し入れをしなくてよく楽」と思うようになったり、「便利だな」と思うようになってきました。特に今冬、手を骨接した時には“ピツ”と置くだけで支払い終了。「やってて良かった。」と思いました。それだけに使い過ぎに注意です。最近は、d払いの方がポイントが良い、と聞いてd払いも始めました。

とにかく年だとあきらめるのではなく、どんな事にも挑戦する気持ちを忘れず生活していけたらと思っています。先日高齢者部会で小千谷市はフレイル活動県内1位だったのが、3 位になったとお聞きして少し残念だったのですが、自分は子ども達やまわりの方に迷惑をかけないように生活していきたいと思っています。



支え合った仲間と！

民生・児童委員をやらせてもらい様々な方と接する事ができ、勉強させてもらい有意義な時を過ごしました。これからも様々な人との触れ合いを大切にしていきたいと思っています。



## 退任にあたり 漆原邦男

家庭状況が宜しくなく、脇道に逸れた男子中学生を親身に寄り添い更生することが出来、平成10年厚生大臣「宮下創平」氏から感謝状を授与された大先輩が居られました。高齢と認知症も進み、惜しくも先年お亡くなりになりました。

仮に私がこのような場面になれば、迷わずしかるべき関係機関に話を持って行き、専門家より対応して頂き自分は一步後退の形を取ると思う。相応の社会経験と根気強さ、相手の方への深い思いやり等々、相当な「人間力」とでも言いましょうか必要と思われます。

退任を控え今、振り返れば3期9年の間に色々教えられたり、少しは教えたり、見てはならない光景を見たり、見落としてはならない事を見落としていたり、福祉とは何ぞやと思ったり、勉強の連続でした。

この役を受けるにあたっては元より非力であり、家庭状況から考え迷いましたが、今は受けて良かったと思っています。民生・児童委員でしか得られない貴重な体験をしました。

第一地区の皆さんお世話になりました。



R6 研修旅行 かほく市

## 名言に人生を重ねて 込田啓子



R7 研修旅行 白石市

今から40年以上前、娘が大きな声で「アンパンマンのマーチ」を楽しそうに歌っていたのを昨日のここのように思い出させてくれたのが、NHK連続テレビ小説「あんぱん」だった。私は退職後の楽しみの一つが朝ドラで、毎日の日課になっている。「やなせたかし」さんの人生観や夫婦愛、アンパンマンが誕生するまでの苦難を通しての言葉「人生はよろこばせごっこ」「何のために生まれて、何をして生きるのか」等が私の人生を重ね合わせる機会になった。

また、細川ガラシャさんの「散りぬべき時知りてこそ 世の中の花も花なれ 人も人なれ」これは散るという自己の終わりを意識することで人生や存在がより美しく輝くという意で私が人生の岐路に立った時、背中を押してくれた句であり私の美学になっている。

6年前、今までの経験を活かし少しでも地域貢献ができたという思いで民生・児童委員を引き受けて活動してきた。あっという間の6年間でしたが、多くの人と出会い多くの学びが得られた。この経験が私のこれからの人生を照らしてくれる事を願い、輝きたいと思っている。

## 第一地区で良かった！ 谷口八重子

第一地区は、研修会の出席者数、研修旅行の参加者数、小千谷中学校の式典出席者数などすべてがトップです。定例会では有意義な企画がなされ、活発に意見が交わされます。主任児童委員からは、毎回私たちに様々な報告や情報提供があります。19人の個性が争うことなく、チームワークも良いです。なんと誇らしいことでしょう！

私は長年看護師をしていたので人と関わることは好きですが、一筋縄ではいかない事例もあり、落ち込みもしました。また、無謀にも会計を引き受け、四苦八苦しました。しかし、民生・児童委員を経験したことで、素晴らしい方々と知り合え、地域の多くの方たちとも交流できました。新たな知識も得ました。特に、新潟少年学院の視察は心に残っています。

もっとみなさんと話したかったという心残りはありますが、第一地区のみなさんと活動できたことに感謝いたします。ありがとうございました。



R5 研修旅行 会津若松市

## 「ごめんなさい」と「ありがとう」 高橋茂美

「この2つ言葉を言えるこどもに育てましょう」

ある朝、ラジオから流れてきた話です。こどもは毎日初めての経験に出会い、失敗と成功を繰り返しながら成長するわけですが、その陰には必ず誰かの手助けがあります。失敗したら「ごめんなさい」、助けてもらったら「ありがとう」。これを素直に言うことで失敗を恐れず、かつ円満な人間関係を築ける人に成長していくとの主旨です。



中学校運動会参観

「まず大人が手本を示さねば」と私は思いました。大人であっても初めての経験に出会う機会は多々あります。

6年前の主任・児童委員拝命は、まさにその時でした。そこで、今回無事任期を終了するにあたり、第一地区委員の皆様と言います。「数々の失礼な言動、ごめんなさい」そして「未熟な私を受け入れ、助けてくださってありがとう」楽しい6年間でした。

本当にお世話になりました。

## この頃思うこと 阿部正行

本当に月日の経つのは早いもので今年もあと2か月あまりで終わろうとしています。これは諸説によりますと年を重ねるということは、例えば生まれて間もない赤ちゃんであれば1分の1だし、50歳であれば50分の1というように小数点が少なくなる、したがってその感じ方が違って来る、そんなふうに言う人もおりました。皆さんはいかがでしょう。

さて、私どもの民生・児童委員の任期もあとわずかになってまいりました。この任期中いろいろな議論がありました。問題は子供のことから年配の方まで本当に多岐に及んでいて、特に第一地区の毎月の会議の中で多くの事を学ぶことができました。

自分ひとりでは立ち入る事ができないこと、それは一人暮らしで、話し相手がみつからない、そして、あげくにはつきまとい行為一步手前までいったのですが、今は立ち直って社会人として生活できています。その人それぞれに力になれたこと、自分にとってその問題に関われたことはよい経験だったと思います。



2024.9.28 ひと・まち・文化共創拠点  
ホントカ。グランドオープン

誰かの芝居のせりふではないですが、人間一人では生きられない、どんな人にも生きる権利があり、そして、今年戦後80年という節目の中で大げさに言えば命の伝承者としての役割、そこをしっかりと考える必要があります。また、お互い小千谷市民であり、街で会えば気兼ねなく声かけられる、そんな顔見知りになり、小千谷市を一人ひとりが支える、そんな気持ちが大事なような気がします。

3万2千人の小さな街ですが、明るい小千谷市にしていきたいと思います。お世話になりました。

**あとがき** このたび退任される10名の方からご寄稿いただきました。長い間のご尽力に感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。皆様の背中を見ながら時には励まされ、指導していただきました。今後益々のご活躍を期待しております。（仲、岡村）

